

平成 29 年度 第 1 回

丹波市地域公共交通活性化協議会
(丹波市地域公共交通会議)

議 事 録

閱覽用

1 開催日時 平成 29 年 6 月 22 日 (木) 午後 2 時 30 分 開会

2 開催場所 丹波市商工会 柏原支所

3 出席者

(委員)

北川博巳	会長	大野亮祐	副会長
本間和典	委員	畠宏一郎	委員
足立安夫	委員	中辻剛	委員
大谷健太郎	委員 [代理]	石田光	委員
黒坂公晶	委員	竹内崇訓	委員
永井正伸	委員	長田貴	委員
駒谷誠	委員		

委員 13 名出席

(オブザーバー) 正垣 あおい

(デマンド(予約)型乗合タクシー運営者) 藤本 泰 男

4 欠席者

中澤秀明 委員
近藤俊幸 委員

中村辰雄 委員

5 会議に付した議題及び案件とその内容

1) 開 会

2) 会長あいさつ

3) 議 事

(1) デマンド交通の状況分析について

(2) 路線バスの利用状況について

(3) 平成 28 年度の実施事業及び決算について

(4) 平成 29 年度の事業案及び予算案について

(5) その他

4) 閉 会

(事務局長)

只今から平成 29 年度第 1 回の丹波市地域公共交通活性化協議会（丹波市地域公共交通会議）を開催させていただきます。委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中、ご出席を頂きますと有難うございます。

それでは以降の進行につきましては会長にお渡しを致します。どうぞよろしくお願ひ致します。

(会長)

皆様お疲れ様です。新年度になり、委員の皆様とまた 2 年間という任期で続けられることを嬉しく思います。丹波市のデマンド交通は本当に定着してきて、これまで色々やってきたなと思いますが、また今後もやっていかないとはいけませんし、市の状況も新しい病院が出来るとか、高齢化社会になって行く中で、公共交通の移動手段がどれだけ大事なのかということをもっとアピールしていきたいと思っています。デマンドの運行開始からは、現況分析を基に、利用状況を見たり、経費がかかるという話がでたり、色々確認作業をしてきましたが、今後は地域の中での出来事や意見等の色々な情報も入れながら、新しい議論の展開をして、より良いシステムに出来ないかと考えておりますので、よろしくお願ひします。

本日の議事は、デマンド交通の状況分析、路線バスの利用状況、平成 28 年度の実施事業及び決算の報告、平成 29 年度の事業案及び予算案についてです。それでは、1 番目のデマンド交通の状況分析について説明をお願いします。

[デマンド交通の状況分析について説明 資料：別紙 1～別紙 15]

(会長)

有難うございました。始まってから 6 年位の実績が出来ましたので、経年毎の比較が大分出来るようになったと思います。素朴な疑問でも何でもいいので、ご意見、ご質問等ありましたらお願ひいたします。

(委員)

別紙 12 のお出かけ先別集計表の中の、「その他」は例えばどういう所があるのかということと、「福祉施設」はどのような類の福祉施設なのか、例えばデイサービスに行くのにデマンドを利用するのかどうかというようなことを確認したいと思います。

(事務局)

福祉施設に関しては、老人ホーム等の施設からのお出かけにご利用頂いているというような所です。

(委員)

在宅から福祉施設へという様なイメージでしたが、逆ですね。福祉施設からの利用という事ですね。その他はどういう内容ですか。

(事務局)

その他に関しましては、レジャー施設、景観地、宗教施設等が含まれますが、去年は、例えばさくら公園ですとか、グランドゴルフへという所へのお出かけが多いという様に聞いております。

(委員)

どちらかという個人の方のQOL（生活の質）に関わるような場所ということですね。分かりました。

(会長)

有難うございました。このような色々な疑問を投げかけて頂ければと思います。デマンドは、地域によって色々な形、特徴が出てくるとは思いますが、今までにない資料だと思ったのが、別紙1・3・4の校区毎の集計表ですね。思い当たる所の地区を見て、少ないとか多いとか、数字を基に考察をしたり、地区で起きている事や、デマンドの評判等も情報として入れておくと、更にイメージが膨らむと思います。他に何かご質問等ありますか。

では、私の感想、解説をとりまとめて、報告したいと思います。別紙1の登録状況については、増える所や減る所がありますが、全体的には横ばいですね。別紙2の運行状況を見て思うことは、昨年度はやむを得ず運休する日があったことを踏まえて、特に大雨や大雪等の非常時の対応等を更に綿密に決めて行くべきではないかという所が宿題として残っていると思います。また、最終頁の表にある200人以上の日数が年々増えてきており、昨年度は運行日数193日の内47日ありました。デマンドが年々定着してきているということだと思いますが、別紙3・4の行政区毎の利用者数を見ると、中にはまだ少ない所やゼロの所があるので、上手く情報提供をしていければ良いと思います。次に、別紙5の実利用者の伸び率については、大体横ばいの状態ですね。注目すべき点は、残念ながら昨年度の死亡者数は80人ですが、これは実利用者の中での人数なので、状態は分かりませんが、お亡くなりになるまでご利用されていたということで、健康寿命を少しでも伸ばすような効果があるのかなという風には思っています。次に、別紙6・7・8の年代別登録者、実利用者、延べ利用者数については、80歳代以上の方、女性の方がかなり多いということで、高齢で運転免許がなく移動が困難な方が主たる利用者というイメージなのですが、先程の説明では、男性も増えてきているということなので、免許証返納の効果が少しは出ているのかなと思います。免許証を返納された方を対象に、デマンド、路線バス、タクシー等の色々な公共交通に目を向けて利用していただきというPR等も、これから必要なのかなと思います。そして、歩くことが段々と困難になってくる80歳代以上の方が特に多いということは、ドアツードアのデマンドが今後どの位必要なのかという1つの目安になるのではないかと考えていまして、学会等でも、丹波市では80歳代の利用者が多く、延べ利用者数も多いという話をしています。次に、別紙9の月別1日平均利用者数については、例えば路線バスの場合は季節変動があるのですが、デマンドに関しては平均的ですので、暑

くても寒くても利用されている乗り物であることが分かりますね。次に、別紙 10 の便別延べ利用者数については、依然として 8 時便がかなり少ないことと、午後便の利用も少ないということが、かねての課題ですが、なかなか良い対策が思いつかないまま 6 年が経過しているという状況です。次に、別紙 11 の曜日別延べ利用者数については、土日の運休日前の、金曜日の利用者が多いのが以前からの状況ですが、最近は、水曜日、火曜日でも、日によっては最大人数になることがありますので、その点も注目したいと思います。別紙 12 のお出かけ先別集計については、病院・診療所に行く割合と、商店に行く割合が逆転したことが、私はすごく嬉しいんです。病院に行くよりは、商店に行き自分で好きな物を買う 80 歳以上の女性の姿を想像すると、個人の健康づくりに役立っているのではないかなと思います。この点についても、良い分析ができるのではと考えています。次に、別紙 13 の乗降場所利用上位一覧につきましては、乗降共に 1 位が商店、降車場所 2 位が病院・診療所とあります。それから特に黒井駅、谷川駅、市島駅等、駅やバス停が上位に加わっており、乗換えて利用する方もかなりおられますので、遠くへは鉄道やバス、近場の移動はデマンドでというような形が出来つつあると思います。その他の場所につきましても、特に多い所は〇〇店や〇〇病院だということも分かりますので、そういう質問もいつでもして頂ければいいかと思います。次に、別紙 14 の利用者上位一覧については、まだ数は少ないですが、250 回以上利用されている方が 206 人おられます。昨年度の運行日数は 193 日ですが、そのほぼ大半を必ずデマンドを往復で使うというようなヘビーユーザーも多くおられるというところもポイントだと思います。それから、延べ利用者数が相当な数になってきましたので、もしかしたら、今年度にお祝いの式典をすることがあるかもしれません。最後に、高齢化が進んでも、デマンドの様な移動手段があることで、まだまだ維持できる部分がありますので、利用者が活力のある生活を送る為の役割といいますか使命という所が、これからのデマンド交通に求められるものと思います。解説は以上です。大変だと思いますが、引続きよろしくお願ひします。

実際の運行主体のタクシー業者さんのお話もお聞きしたいのですが、何か最近の出来事等がありますか。

(委員)

タクシーの方は依然として苦戦はしていますが、デマンドの方は今のところよく動いています。タクシー業界は、今は低迷しているので仕方ないと思っています。デマンドに関しては、別紙の「柏原病院への行き方」に書いてあるように、例えば、お客様の方からデマンドで事務所に来られて、そこからタクシーで行かれるとか、様々な有効利用をされて賢く使っておられると思います。

(委員)

現在のタクシーの売上高は、以前の 3 割減と低迷している状態です。デマンド交通だけが影響している訳ではないと思いますが、例えば、柏原地区のデマンドの利用状況を見ると、デマンドが浸透しているなという実感があります。

(会長)

有難うございました。このような共存体制を含めて、タクシーとデマンドがどのように折り合いをつけていくかが大事ですし、特に「柏原病院への行き方」のような、有益なプランを明示していくことも大事だと思いますので、引き続きよろしくお願い致します。他にデマンドについて何かありますか、よろしいですか。

それでは次の話題に進みたいと思います。2番目の路線バスの利用状況について説明をお願いします。

[路線バスの利用状況について説明 資料：別紙16～別紙17]

(会長)

有難うございます。やはりバスは難しいと思いながら見ていますが、何か質問、確認事項等ありましたらお願いいたします。

毎年、バスの利用者数には一喜一憂することもあると思いますが、現実にはデマンドの運行が始まる前から、かなり低調で減少傾向にありました。そこで、バス車両を変えたり、ダイヤを見直したり、バス停の位置を変えたり等、色々と対策をして、一時期は増加傾向の良い形になったのですが、またこの2、3年は徐々に減っているという状況です。特に、通学でバスを使う方の割合がかなり多いので、少子化による人口減少の影響もあるかと思えます。一方、例えば谷川ー坂尻線は、減少傾向のままかと思えば、増加傾向になり、少し減ってもまた増えてという状況もありますので、その辺の分析を、バス事業者さんにお聞きしたいと思います。

(委員)

現場の所長から発言させていただきます。

(所長)

谷川ー坂尻線について、これといった原因は分かっていません。学生さんに関しては、やはり雨降りの日は多く乗って頂いています。また、4月、5月頃までは、バス通学の方が結構おられますが、運賃が高いということなのか、自転車通学に替える方もおられるという事で減っています。原因究明という所は今後の課題であると思っています。

(会長)

有難うございます。やはり原因については、なかなか答えの出ない問題だと思います。課題を捉えてみんなで考えていきたいと思いますので、バス事業者さんも、抱え込まずに相談して頂ければと思います。

(委員)

当社では、丹波市地域でも、それ以外の地域でも、やはり中学生、高校生のバス通学が非常に大きい部分を占めています。その分、少子高齢化で子供の数が減るのに比例して、

通学者も減るといった傾向はあります。一方で、児童の減少により学校が統合される場合で、例えば多可町八千代区は、平成 28 年に 3 つの小学校が統合されたのですが、統合された小学校がバス路線のルート上にあったので、バス通学者の為に路線バスを増便しました。子供の数は減っているけど、逆に、路線バスを使って通学する子供の数が増える地域もあるということで、環境の変化により今までとはまた別のバス利用も生まれるというところも今後見ていきたいと思います。

(会長)

事務局にお聞きしますが、学校や病院の統合や見直しで、何か新たな情報はありますか。

(事務局)

学校の統合に関しては、青垣地域の 4 つの小学校が 1 つに統合されて、通学は、教育委員会がスクールバスを運行しています。あと、春日地域の大路小学校の生徒さんが路線バスで通学されていますが、やはり子供の数が減っていると聞いています。病院に関しては、新病院の開院に向けて、神姫グリーンバスさんと乗り入れの協議をさせて頂いて、現在、路線を検討して頂いています。今秋頃には案を出して頂けるように聞いていますので、また本会の方にも諮っていきたくと考えています。

(会長)

有難うございます。学校の統合がじわじわと進んだり、新病院の件もありますので、引き続き活性化に向けたアイデアを出したいのですが、やはり減が目立ちますので、どうすれば上向くのか、いろいろと考えるところはあるかと思えます。公共交通を、デマンドを含めて 1 つのシステムとして考えた時に、やはりバスは非常に重要ですので、その辺を踏まえた上での連携や、利用者増加に繋がる対策を考えていければと思います。神姫グリーンバスさんもいろいろと工夫をして頂いていて、我々に乗車券を配って、是非乗ってくださいということもやって頂きましたし、我々もバスを理解しながら進めて行ければ良いと思います。丹波市は大きな町ですから、特に長距離、幹線となる交通手段についても考えていかなければいけないと思います。その他よろしいでしょうか。

それでは、3 番目の平成 28 年度実施事業及び決算について説明をお願いします。

[平成 28 年度の実施事業及び決算について説明 資料：別紙 18～別紙 20]

(会長)

有難うございます。では監査員さんから決算監査の報告をお願いします。

(委員)

それでは監査報告をさせて頂きます。平成 28 年度会計帳簿及び収支決算書につきまして、通帳、帳簿並びに関係書類等を厳正に確認させて頂きました結果、適正かつ正確な処理が

なされておりましたことをここにご報告申し上げます。

(会長)

有難うございます。昨年度の事業につきまして、何か質問等ありましたらお願いいたします。

昨年度はデマンドのシステム変更があり、本当に大変だったと思います。ハードウェアの経費面では、市にかなりご負担を頂きました。新システムの操作が難しそうでしたが、研修を経て、今はもう順調に運用されているということですね。操作研修の重要性を感じました。また、「てくてくたんば」については、ダイヤ改正に伴い、その度に出して頂いているので、これもかなり利用増進に役立っていると思います。それから、利用 1,000 回の達成記念式典は非常に良かったと思います。いつも利用されている方とオペレーターが、顔を見合わせてコミュニケーションが出来たというのは、非常に大事なことだと思います。1,000 回ということは、ほぼ毎日のご利用頂いている方への特典でもありますから、これは是非、継続していければいいなと思っておりますので、よろしく申し上げます。では、昨年度の事業及び決算については承認ということよろしいですか。

それでは、4 番目の平成 29 年度の事業案及び予算案について説明をお願いします。

[平成 29 年度の事業案及び予算案について説明 資料：別紙 21～別紙 23]

(会長)

有難うございます。今年度の事業案予算案について、何かご質問、ご意見等ありましたらお願いいたします。

では私から確認事項ですが、デマンド車両の故障等の時に、代車を用意して頂いたという話でしたが、何か費用は発生しましたか。

(事務局)

その件に関しては、この度、各タクシー業者所有の特大車両を、乗合事業の予備車両として登録していただき、デマンド車両が運行できない場合に使用頂くということになっております。運行の際は、デマンドの運行費と同額をお支払いしています。

(会長)

それは運行費の中に入っているということですか。

(事務局)

運行費の中です。

(会長)

分かりました。そろそろ車両更新についても考えなければいけないのですが、事務局で

各車両の走行距離を把握して頂いているので、ローテーションなりを考えなければいけないのかなというところもあります。運行も7年目ですので、各車両で更新の時期を考えなければいけないという課題がありますが、今年度の予算には入っていないので、まだ検討段階ですかね。

(事務局)

車両に関しては、システムと同様に、本協議会の費用ではなく、市の負担と考えていますので、今後財務部局と協議を進めていきたいと思っています。

(会長)

市の負担ということは、当協議会としては、車両更新が必要だという根拠を示さないといけないので、しっかり運行して、それを積み重ねて提案して頂きたいと思っています。その他にご質問はありますか。では、平成29年度の事業案及び予算案については承認ということではよろしいですか。

それでは、5番目のその他について説明をお願いします。

(事務局)

会長からデマンドの延べ利用者数についての話がありましたが、昨日までの延べ利用者数が188,469人です。今年度中には、延べ利用者数が20万人に達する見込みですので、20万人達成の式典的なものができればと考えています。また、利用1,000回達成については、今年5月末で1,003回の方が1名おられて、あと1～2名の方が今年度中に達成されるのではないかと状況です。その記念式典も合わせて、達成が近くなれば、会長とご相談しながら考えていきたいと思っていますのでよろしくお願いします。

(会長)

予算措置的には利用促進啓発費ですかね。高額ではないと思うので、実現できるようにして頂ければと思います。1,000回が目標だという方もおられるでしょうし、数を把握して何もお祝いをしないのも申し訳ないところもありますし、1度記念式典をやればずっと継続しなければというところもありますので、よろしくお願ひしたいと思っています。

その他にありますか。

(事務局)

神姫グリーンバスさんから、坂尻－谷川駅線ルートの変更案の相談を受けた案件があります。現在の谷川駅から久下小学校前までの区間が、旧道で大変狭隘であるので、新しいルートに変更したいという相談です。詳細については、神姫グリーンバス所長から説明を頂きたいと思っています。

(所長)

坂尻－谷川駅線のルート変更案について報告させていただきます。現行ルートの久下小学校前から谷川駅前間は道幅がだいぶ狭いのですが、小学生の通学路に利用されているし、学

生の自転車の往来があるし、自家用車も走行しているしということで、昔から運行している中で、乗務員にもだいぶストレスがあるという状況です。谷川駅の周辺は、整備されて道幅も広がっているのので、安全な道幅が確保されたルートに変更したいという事で協議して参りました。久下小学校前から谷川駅前までは、他にバス停もなく時間的にもそんなにロスがないということ、距離的にも延長 200 メートル以内ということを確認したので、安全なルートに変更をしたいと思っております。

(会長)

有難うございます。今のお話は、交通安全上の面でも、道路整備に伴う走行のし易さの面でも良いことだと思います。ルート変更をする時に、交通会議での協議事項で許可（申請に合意書面を添付）するというような話があるんですが、扱いとしてはどうなりますか。

(事務局)

今回の路線の変更については、バス停からバス停の間の運行ルート変更で、バス停の変更はありません。あくまでも運行のルートの変更ですので、本会には報告という形で、神姫グリーンバスさんから直接神戸運輸監理部へ、事業者からの申請として協議して頂くということを確認しております。

(委員)

変更ルートについては、神姫グリーンバスさんとしては、既に認可をお持ちの路線なんでしょうか。

この変更ルートについては、新規ですね。では認可申請ですので、また出して頂くようお願いします。

(会長)

行政手続に則ってやって頂いて、本会では報告という形ですね。分かりました。その他にありますか。

(事務局)

視察受入の報告ですが、茨城県笠間市からデマンドシステムを見学したいという事で明日、お越しになる予定です。タブレット型車載機の導入は、実は丹波市が全国で2番目で、13台も入れたのは、今までに事例がないということで、実際に運行している所を見たいという申し出がありました。そこでデマンド会さんにもご相談の上、ご協力を頂くこととなり、1時便の休みを利用して、12時便終了後の12時半頃から2時便配車までの1時半頃までの間の1時間について、デモ走行のお願いをしております。また、デマンド導入を検討されている三木市から話を聞きたいという事で、来週に対応する予定です。

(会長)

有難うございます。タクシー部会さんにはお手数をかけて申し訳ないですが、実際に走らせてPRをするのは非常に大事なことです。やはり行政としては視察がどれだけあるか

が重要な数字になる時もありますので、ご協力の程よろしく申し上げます。あわせて、デマンドの効果のようなものを、もっとアピールしていかなくてはと思っています。80 歳代の免許のない方にとっては生活の大きな移動手段であり、最近では通院より買い物に行く人の方がものすごく増えているというような話も含めて、研究者としては、これが価値ですとか、これが効果ですと、もう少ししっかり数字を出さないといけないかなと思っています。確か今持っているデータの集計や分析をしたいという話があったので、その点の見える化を諮っていくのが、今年度から来年度にかけての目標なのかなと、今のお話を聞いて思いましたので、これについてもご協力をお願いしたいと思います。

(事務局)

今までの事業の検証と課題整理に係る業務については、来週に入札予定となっておりますので、業務を進めたいと考えています。途中成果や成果が出来た段階等で、本会議に諮りまして、今後の公共交通体系に向けての良い案を出して頂けたらと考えておりますので、ご協力をお願いします。

それから、次回の開催については、有償運送運営協議会の開催と合わせて、第2回目を開催させて頂きたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。

(会長)

有難うございます。その他はよろしいですか。

いつも会議の最後に警察にお聞きしていますが、免許証返納等の最近の動きを教えてください。

(委員)

丹波市では、免許証返納時に、1万円分の商品券の交付や運転経歴証明書取得にかかる1,000円の費用の全額補助があり、行政的にも制度が非常に充実しています。県下の同規模署に比べますとはるかに高い返納率と感じています。西宮警察署とか、県下1・2位を争う大規模署ほどではないのですが、その次のグループでの返納率、返納数は非常に高いものであると感じています。また、四半期毎に開催される警察協議会では、参加されている先生方からデマンドタクシーのお話が出ますので、市民の方の関心が非常に高いと感じています。デマンドタクシーが充実すれば、免許証返納も更に進むのではないかと思いますので、引き続き充実頂ければと思います。

(会長)

有難うございます。やはり免許証を返納された時が大変だと思いますので、そのタイミングで、代替りの移動手段でこんなのあるんですよとデマンドを始め公共交通のPRも是非して頂ければと思いますので、よろしく申し上げます。

その他に皆さんから何かありますか。

それでは、最後に副会長からご挨拶を頂いて閉会にしたいと思います。

(副会長)

本日は、第1回目の地域公共交通活性化協議会に、大変貴重な時間の中をお集まり頂き有難うございました。私はこの会議に初めて出席させて頂きましたが、自治会長会としても、地域交通、公共交通に関してあまり話をしたことがなかったので、今日頂いた資料等を出来るだけ皆様方にお示しすることによって、公共交通に関心を持って頂いて有効に利用が出来ればと思います。第2回目の会議が9月頃の予定ということですので、またその時にはよろしくお願いを致しまして、本日は閉会とさせていただきます。誠に有難うございました。